

災害時における廃棄物の処理等に関する協定書



平成 25 年 12 月 1 日締結

災害時における廃棄物の処理等に関する協定書

東浦町（以下「甲」という。）と一般社団法人愛知県産業廃棄物協会（以下「乙」という。）は、地震、水害等の大規模災害が発生したとき（以下「災害時」という。）における廃棄物の処理等に関して、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、東浦町内において、災害時に生じた廃棄物の処理について、甲が乙に協力を要請するに当たって、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この協定において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによる。

- （1）大規模災害 災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第2条第1号に掲げる災害のうち、大規模な被害を生ずるものをいう。
- （2）災害廃棄物 がれき（災害時に損壊又は焼失した建物等の解体、撤去等に伴って発生する木くず、コンクリート塊、金属くず等及びこれらの混合物）、災害時に一時的に大量に発生する生活ごみ及び粗大ごみ（廃家具類、廃家電製品等）並びに適正処理困難物（アスベストを含有する廃棄物、ポリ塩化ビフェニル廃棄物、消火器等適正処理が困難な廃棄物）をいう。
- （3）災害廃棄物処理 災害廃棄物の撤去、収集、運搬、分別及び処分のことをいう。

（協力要請）

第3条 甲は、災害時に、乙に対して災害廃棄物処理について協力を要請することができるものとする。

- 2 甲が乙に対して行う協力要請は、様式第1号により行うものとする。ただし、緊急を要する場合は、電話等により乙に対して要請し、その後、速やかに様式第1号を提出するものとする。

（情報提供等）

第4条 甲は、災害時に円滑な協力が得られるように、適宜、乙に町内の被災、復旧状況等の必要な情報を提供するものとする。

- 2 乙は、災害時における円滑な災害廃棄物処理が図られるように、乙の会員等における協力体制及び情報等の収集・伝達体制の整備に努めるものとする。
- 3 乙は、災害廃棄物処理が円滑に行われるように、災害時に出勤可能な乙の会員等が保有する要員、車両、資機材等の数量を把握し、予め甲に報告するものとする。

（災害廃棄物処理の実施）

第5条 乙は、第3条の要請を受けたときは、必要な要員、車両、資機材等を調達し、甲の指示に従い、可能な限り災害廃棄物処理を実施するものとする。

- 2 乙は、災害廃棄物処理を実施したときは、様式第2号により甲に報告するものとする。

(費用負担)

第6条 第3条の要請に基づき乙が実施した災害廃棄物処理に要した費用は、甲及び乙が協議の上決定し、甲が負担するものとする。

(協定の優先)

第7条 甲が、災害廃棄物の処理に関し、別に乙以外の者と個別に締結した協定等がある場合は、この協定の規定にかかわらず、個別の協定等の規定を適用するものとする。

(協議)

第8条 この協定に定めるもののほか必要な事項については、その都度、甲及び乙が協議して定めるものとする。

(協定の有効期間)

第9条 この協定は、締結の日から効力が発生するものとし、甲又は乙が文書をもって協定の終了を通知しない限り、その効力を有するものとする。

この協定を証するため本書2通を作成し、甲乙双方が記名押印の上、各1通を保有するものとする。

平成25年12月1日

甲 知多郡東浦町大字緒川字政所 20 番地
東浦町

代表者 東浦町長 神谷明彦



乙 名古屋市中区金山二丁目 10 番 9 号
第8フクマルビル5階
一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会

代表者 会長 永井良



様式第1号（第3条関係）

年 月 日

災害時における災害廃棄物処理の協力要請書

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会
会長 様

東浦町長 印

災害時における廃棄物の処理等に関する協定書第3条第2項の規定に基づき、次のとおり災害廃棄物処理を要請します。

被災の状況	
災害廃棄物 処理の場所	
災害廃棄物 処理の内容	
災害廃棄物 処理の期間	
その他 必要な事項	

（担当：知多郡東浦町生活経済部環境課 電話 0562-83-3111）

様式第 2 号（第 5 条関係）

年 月 日

災害時における災害廃棄物処理の協力実施報告書

東浦町長 様

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会
会長 印

災害時における廃棄物の処理等に関する協定書第 5 条第 2 項の規定に基づき、次のとおり報告します。

災害廃棄物 処理を実施 した場所	
実施した 災害廃棄物 処理の内容	
災害廃棄物 処理に従事 した要員、車 両及び 資機材等	
災害廃棄物 処理に従事 した期間	
その他 必要な事項	

（担当者 氏名： 電話 ）

